

# その他の設定オプションについて

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能のほかに、特別なボタンやソフトキーのテンプレートを使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、電話機のシステム管理者と相談するときに役立ちます。



**(注)** この表に記載されている電話ガイドとその他のマニュアルについては、次の Web サイトから入手できます。

[http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c\\_ipphon/index.htm](http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm)

目的または状態	操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
自分の電話回線で処理できるコールを増やす必要がある	回線でサポートされるコールの追加をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
電話回線が 1 本では足りない	追加の電話番号の設定をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
短縮ダイヤル ボタンが足りない	まず、現在利用可能な短縮ダイヤル ボタンをすべて使用しているかどうかを確認します。  追加の短縮ダイヤル ボタンが必要な場合は、固定短縮ダイヤル機能の使用、またはファースト ダイヤル サービスへの登録を試行してください。	<ul style="list-style-type: none"><li>『Cisco IP Phone 7914 拡張モジュール 電話ガイド』を参照してください。</li></ul>
秘書と仕事をしている (または自分が秘書である)	次の機能の導入を検討してください。 <ul style="list-style-type: none"><li>Cisco Unified CallManager Assistant</li><li>共有回線</li></ul>	次を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"><li>P.37 の「共有回線の使用」</li><li>『Cisco Unified CallManager Assistant User Guide』</li></ul>

目的または状態	操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
1つの内線を複数の電話機で使用する	共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば1つの内線番号をデスクの電話機と実験室の電話機で使用することができます。	P.37の「共有回線の使用」を参照してください。
電話機やオフィススペースを同僚と共有している	<p>次の機能の導入を検討してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コールパーク：転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。</li> <li>• コールピックアップ：別の電話機で鳴っているコールに応答できます。</li> <li>• 共有回線：同僚のコールを表示、またはそのコールに参加できます。</li> <li>• Cisco エクステンションモビリティ：共有の Cisco Unified IP Phone に自分の電話番号およびユーザプロフィールを適用できます。</li> </ul>	<p>これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• P.34の「応用的なコール処理」</li> <li>• P.37の「共有回線の使用」</li> <li>• P.44の「Cisco エクステンションモビリティの使用」</li> </ul>
頻繁にコールに応答する、または他の人の代理でコールを処理する	電話機への自動応答機能の設定をシステム管理者に依頼します。	P.47の「自動応答の使用」を参照してください。
ビデオコールを発信する必要がある	Cisco Unified Video Advantage の使用を検討してください。これを使用することにより、Cisco IP Phone、パーソナルコンピュータ、および外部ビデオカメラを使用して、ビデオコールを発信できるようになります。	詳細についてはシステム管理者にお問い合わせください。また、『Cisco Unified VT Advantage クイックスタートガイド』および『Cisco Unified VT Advantage ユーザガイド』を参照してください。
電話機の短縮ダイヤルボタン、履歴、またはディレクトリのリストと関連付けられた電話回線の状態を判断する	電話機の Busy Lamp Field (BLF; ビジーランプフィールド) 機能を設定するように管理者に依頼します。	P.45の「BLFの使用による回線の状態の確認」を参照してください。
共有の Cisco Unified IP Phone に自分の電話番号と設定を一時的に適用する	Cisco エクステンションモビリティサービスについて、システム管理者にお問い合わせください。	P.44の「Cisco エクステンションモビリティの使用」を参照してください。